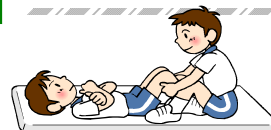


2学期を振り返ってII

健康な心と身体



項 目	取り組みの成果 ○ 3学期の改善点 ●
基本的生活習慣の確立 基本的な生活習慣（生活のきまり）を心がけて実践している生徒を80%以上にする	○『できた』と回答した生徒は、7年生88.9%（55.6%）8年生57.1%（57.1%）9年生38.5%（6.7%）であった。 ○早寝、早起き、朝ご飯の習慣で『あまりできなかった・できなかった』と回答した生徒が、8年生35.7%（14.3%）9年生で4.7%（42.8%）いた。 ○疾病の早期治療について、『できた』と回答した生徒は、7年生88.9%（55.6%）8年生41.7%（25%）9年生52.2%（34.8%）であった。 ●生活のきまりについては、『まあまあできた』の回答を合わせるとほぼ100%となるので、さらに生徒会や学級の自治活動の向上を図る取り組みをする。 ●疾病の早期治療や家庭生活については、保護者と連携を図りながら必要性についてさらに継続して指導する。
体力向上を図る 新体力テストの結果から目標を持って体力づくりに取り組む活動の充実を図る	○自分の課題を把握することが『できた・まあまあできた』と回答した生徒は、7年生100%（100%）、8年生は85.7%（92.9%）、9年生は84.7%（78.5%）であった。 ○体力向上のため進んで運動に取り組んだと回答した生徒は、7年生88.9%（66.7%）、8年生57.1%（42.9%）、9年生23.1%（21.4%）であった。 ○第2回の体力テストを目指し、体育での吉里っ子サーキットや部活動での合同トレーニングに意欲的に活動する姿が多く見られた。 ●さらに、吉里っ子サーキットや部活動での合同トレーニングの充実を図るとともに、個々の評価を行ない意欲を促す。
教育相談・カウンセリングの充実 困ったことや悩み事を相談できる先生がいる。	○『いる』と回答した生徒は、7年生100%（100%）8年生50.0%（50.0%）9年生38.5%（50.0%）であった。 ○学期末の教育相談で、自分の考えや悩みについて、学年の先生と話せたと回答した生徒は、7年生44.4%（88.9%）8年生57.1%（42.9%）9年生38.5%（42.9%）であった。 ●日常の生徒観察や計画的な教育相談活動は実施できているが、困ったことがあったときに『大人に相談する』という選択肢を持ってない生徒に対して、日常生活で要観察を行ない、気になる場合は教師側から積極的に声かけを行ない、意図的に相談の機会を設ける。

() 内の数値は1学期の評価である

未来に生きる郷土愛

項 目	取り組みの成果 ○ 3学期の改善点 ●
郷土芸能伝承活動等 ふるさと科の活動(郷土芸能伝承活動・ワ	○地域のために何か頑張りたい『そう思う』『まあまあ思う』と回答した生徒は、7年生100%（100%）、8年生92.8%（92.8%）、9年生92.

カメ体験学習等）を通し、地域のよさに気づき、地域に貢献できる生徒を育てる	3%（78.6%）であった。 ○地域や保護者と学校が連携した体験学習を行なうことで、地域の良さを知り、地域のために貢献できることを行なおうという意識が高まっている。 ●ワカメ体験（収穫作業、芯裂き、製品化）で、地域産業の理解を図り地域の良さを発信できる生徒を育てる。
防災教育の充実 防災の知識を身につけ、避難訓練等で主体的に行動できる生徒を育てる	○『できた』『まあまあできた』と回答した生徒は、7年生100%（100%）8年生100%（100%）9年生100%（85.7%）であった。 ○11月の防災週間の取り組みで、あらためて防災に対する意識や語り継ぎも重要であることを理解した。 ●自然災害は、何時起こるが予想できないので、生徒、教職員ともに常に『備える』ことを意識し生活をする。

（ ）内の数値は1学期の評価である

中学部1日体験生活

いよいよ今年度も残り少なくなってきましたが、この時期は、来年度本校に進級してくる、6年生を迎える準備を始める時期になっています。2月4日（火）朝から、小学部6年生全員

が、中学部で1日体験生活を行いました。7年教室の隣に、進級生教室を準備して、朝の短学活から、1校時目は、他の学年の授業見学。2校時目は、社会科体験授業、3、4校時目は、部活動体験と行い、午前は終了。給食を食べて、昼休み。清掃、短学活と進み、5校時は、数学科体験授業参観を行い、その後は、保護者の方々と親子一緒に、進級生説明会を行いました。



＊部活動体験や自分たちの授業参観も含めて、7・8年生は、立派な先輩としての姿を一日中見せていました。
・部活動体験は、この後も春休みまで続きます。進級式の日に入部届を出すことになっています。